

(対象期間：2022/2/28～2022/3/4)

【株式市場】ジャカルタ総合指数の推移
(2016年1月4日～2022年3月4日)

【株式市場】

1日は地政学的な懸念を背景とした商品価格の上昇を受け、石炭株やパーム油関連株などが上昇し、インドネシア株式市場は一時史上最高値を更新しました。2日も商品関連株は引き続き上昇しましたが、業績不振を材料にセメント株や銀行株などが売られ、株式市場は下落しました。4日はウクライナ情勢の緊迫化を受けて商品市況が一段高となり、外国人投資家から商品関連株を中心とした旺盛な資金流入が見られ終値ベースで史上最高値で引けました。株式市場は前週末比で上昇しました。

| 2022/2/25 | 2022/3/4 | 変化率 |
|-----------|----------|--------|
| 6,888.17 | 6,928.33 | +0.58% |

【債券市場】インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2022年3月4日)

【債券市場】

1日に行われた国債入札では地政学的な懸念が高まる中でも投資家の堅調な需要があり、応札額は前回はを上回りました。しかし、政府の発行額は当初発行予定額を下回りました。入札後の債券市場は横ばいでの推移となりました。同日発表された2月の消費者物価指数(CPI)は市場予想を下回りましたが、市場の反応は限定的でした。週末にかけて外国人投資家からの資金流入を背景に株式市場が堅調となった一方で、債券市場からは外国人投資家からの資金流出が加速し、債券利回りは急上昇(価格は下落)しました。10年国債利回りは前週末比で上昇しました。

| 2022/2/25 | 2022/3/4 | 変化幅 |
|-----------|----------|--------|
| 6.515 | 6.679 | +0.164 |

【為替市場】インドネシアルピアの対円レートの推移
(2016年1月1日～2022年3月4日)

【為替市場】

週初、ルピアは狭い値幅での推移となりましたが、週半ばにロシア産石油輸出の制限観測で原油価格が急騰し、世界的にリスク回避姿勢がさらに強まったことを受けて弱含みました。しかし、堅調な商品市況を好感した外国人投資家からの資金が株式市場へ持続的に流入していることもあり下値は限定的となり、週末にかけては持ち直しました。ルピアは前週末比対米ドル、対円ともに下落しました。

| 2022/2/25 | 2022/3/4 | 変化率 |
|-----------|----------|--------|
| 0.8034 | 0.8019 | -0.19% |

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・フィナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。